

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第2区分
 【発行日】平成21年1月22日(2009.1.22)

【公表番号】特表2008-527408(P2008-527408A)
 【公表日】平成20年7月24日(2008.7.24)
 【年通号数】公開・登録公報2008-029
 【出願番号】特願2007-549380(P2007-549380)
 【国際特許分類】

G 0 2 B 5/02 (2006.01)
 G 0 2 F 1/1335 (2006.01)
 G 0 2 F 1/13357 (2006.01)
 F 2 1 V 8/00 (2006.01)
 F 2 1 S 2/00 (2006.01)
 F 2 1 V 5/00 (2006.01)
 F 2 1 V 5/02 (2006.01)
 G 0 2 B 5/04 (2006.01)
 F 2 1 Y 103/00 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 5/02 C
 G 0 2 F 1/1335
 G 0 2 F 1/13357
 F 2 1 V 8/00 6 0 1 A
 F 2 1 S 1/00 E
 F 2 1 V 5/00 5 3 0
 F 2 1 V 5/02 1 0 0
 G 0 2 B 5/04 A
 F 2 1 Y 103:00

【手続補正書】

【提出日】平成20年11月28日(2008.11.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1の表面と構造化表面とを有する光学フィルムであって、前記構造化表面は複数のプリズム状構造体を含み、各構造体は、少なくとも2つの第1の辺および少なくとも2つの第2の辺を含み、かつ前記第1の辺が前記第2の辺と異なる長さをもった基部を有する、光学フィルムにおいて、

前記複数のプリズム状構造体のそれぞれが5つの実質的に平らな表面を含み、4つの表面が前記基部に取り付けられており、かつ該4つの表面のそれぞれが前記基部から5つ目の表面に向かって角度を付けて配置されており、

前記複数のプリズム状構造体の少なくとも1つの前記第1および第2の辺の少なくとも1つが、少なくとも1つの他のプリズム状構造体の前記第1および第2の辺の少なくとも1つに対してずれており、かつ

前記光学フィルムには、前記第1の表面又は前記構造化表面を介して光が入射する、光学フィルム。

【請求項 2】

前記光学フィルムが、前記構造化表面の光学的特徴とは異なる付加的な光学的特徴を有する基板部分をさらに含む、請求項 1 に記載の光学フィルム。

【請求項 3】

光源と、前記構造化表面が前記光源とは反対側を向くように配置されている請求項 1 に記載の光学フィルムとを含む光学装置。